

開講期	2025年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	6110 宗教造形論基礎			開講形態（隔週 偶数＝隔週2コマ）	週間授業
種別	なし			定員	
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	×	全学開講	○
曜日時限	水曜2限				
教室	H206教室				
代表教員	君島 彩子				
担当教員	君島 彩子				
テーマと到達目標	美術史を学ぶうえで宗教に関する知識は必要不可欠である。本講義では宗教についての基礎的な理論を理解したうえで、日本およびアジア圏において馴染み深い宗教的物質文化の成り立ちと役割を把握することを目標とする。				
概要	無宗教を自覚する国民が多い日本においても、仏像、狛犬、鳥居など宗教的な意味を有する「モノ＝物質文化」を日常的に見かける。これらの多くは中世末期から近世にかけて日本で広まったものであるが、アジア地域からさまざまな影響を受けているものが多い。本講義では日本の宗教の背景にあるインドや中国などの宗教造形を確認したうえで、日本の宗教造形の尊格や成り立ちについて学ぶことで、文献資料とは異なる手法で日本およびアジア圏の宗教文化について理解を深める。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員（複数の教員が担当する場合のみ記載）	授業方式
第1回	ガイダンス～宗教と象徴・イメージ・物質～				対面授業
第2回	世界宗教の種類と物質性				対面授業
第3回	インドの宗教造形1				対面授業
第4回	インドの宗教造形2				対面授業
第5回	インドの宗教造形3				対面授業
第6回	インドの宗教造形4				対面授業
第7回	インドの宗教造形5				対面授業
第8回	中国の宗教造形1				対面授業
第9回	中国の宗教造形2				対面授業
第10回	日本の宗教造形1				対面授業
第11回	日本の宗教造形2				対面授業
第12回	日本の宗教造形3				対面授業
第13回	日本の宗教造形4				対面授業
第14回	日本の宗教造形5				対面授業
第15回	講義の振り返りとまとめ				対面授業
成績評価の基準	授業中におこなうテスト及び提出課題、授業態度から総合的に評価。				
履修にあたっての留意事項	各自で神社や寺院、博物館などを見学することが望ましい。				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限（抽選）授業の優先条件					

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用			
教科書	授業中に適宜指示または配布。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示または配布。	参考文献(ISBN)	